

2009 年度前期 授業評価アンケート結果速報

システムデザイン学部 F D ニュース No. 1

《 学生の皆さんへ 》 システムデザイン学部・研究科では7月6日～23日の期間、学部と大学院で前期に開講された講義を対象に授業評価アンケートを実施しました。今回も多くの方の皆さんに回答していただきました。

ご協力大変ありがとうございました。

アンケートの集計ができましたので、その集計結果の概略をお知らせします。
詳しくはシステムデザイン学部ホームページに掲載されます。そちらもご覧ください。

※以下の質問事項の一部には簡略化表記しているものがあります。

システムデザイン学部科目の回答総平均

(開講授業数71中64授業からの回答)

“強く思う”と“思う”の回答割合 (%)

1 授業開始前にシラバスをよく読みましたか	★★★★◐ 43%
2 授業の目的と応用分野に対する説明はありましたか	★★★★☆◐ 56%
3 成績評価法は明確に説明されましたか	★★★★☆◐ 55%
4 資料や板書は見やすく内容も理解しやすかったですか	★★★★☆ 50%
5 教員が熱意を持って授業を行っていると感じましたか	★★★★☆★ 62%
6 学生の理解度を確かめるような工夫がありましたか	★★★★☆ 49%
7 授業の内容は適切なレベルだったでしょうか	★★★★☆ 49%
8 この授業に満足しましたか	★★★★☆◐ 53%
9 解らないことは質問したり調べるなど努力しましたか	★★★ 30%
10 授業にどの程度出席しましたか (欠席1回以下)	★★★★☆★◐ 74%
11 週にどの位、この授業に関連した学習をしましたか	★★★★☆ 53% (30分以上)

▶ 学生の皆さんから、こんな意見がありました

「板書が見やすく、よくまとまっていて授業に集中できました」

でも一方で「板書の字が小さい、見づらい、もっと読みやすく」という声も。

「演習、課題(大変でした)があり、理解の助けになった」

「プリントが配布され、理解や復習時に役に立った」

▶ 授業担当者からのコメント

「図や写真を積極的に利用して、理解の助けとなるよう努めている」

「ホワイトボードの利用に制限がある、プロジェクタの明るさ、位置の改善が必要」

「授業に遅刻をしてほしくない」

システムデザイン研究科科目の回答総平均

(開講授業数 29 中 28 授業からの回答)

“強く思う”と“思う”の回答割合 (%)

1 授業前にシラバスをよく読みましたか	★★★★☆★◐	65%
2 授業の目的と応用分野に対する説明はありましたか	★★★★☆★◐	74%
3 成績評価法は明確に説明されましたか	★★★★☆★◐	67%
4 資料や板書は見やすく内容も理解しやすかったですか	★★★★☆★	61%
5 教員が熱意を持って授業を行っていると感じましたか	★★★★☆★★	72%
6 学生の理解度を確かめるような工夫がありましたか	★★★★☆★	61%
7 授業の内容は適切なレベルだったでしょうか	★★★★☆★◐	64%
8 この授業に満足しましたか	★★★★☆★◐	67%
9 解らないことは質問したり調べるなど努力しましたか	★★★★☆	50%
10 授業にどの程度出席しましたか (欠席 1 回以下)	★★★★☆★★★	81%
11 週にどの位、この授業に関連した学習をしましたか	★★★★☆★◐	66% (30 分以上)

▶ 学生の皆さんから、こんな意見がありました

「ディスカッションの機会が取り入れられていて良かった」

「プレゼンテーションができた点が良かった」

「プリント、資料が配布されて理解しやすかった」

「板書の字が読み取りづらかった」

▶ 授業担当者からのコメント

「プレゼンテーション、ディスカッションを積極的に取り入れている」

「学生の授業中の居眠りが気になった」

システムデザイン学部・研究科FD部会から

これらのアンケート結果は科目ごと回答者個人が特定できないような形に集計処理された上で、個々の授業担当者にフィードバックされて、授業のさらなる改善、向上の参考にしてもらっています。

なお今年度後期の授業評価アンケートの実施を来年 1 月に予定しております。またご協力をお願いいたします。

FD(ファカルティ ディベロップメント)とは

あまり聞きなれないと思う方がまだ多いのでは。

起源は米国にあり、日本では「教員が授業内容・方法を改善し、向上させるための組織的な取組の総称」とされています。

首都大学東京

システムデザイン学部・研究科FD部会

2009 年 10 月 30 日